

特別展

シルクロードの

商人語り
あきんど

サマルカンドの遺跡とユーラシア交流

Special Exhibition

Echoes of Silk Road Traders: Samarkand's Relics and Eurasian Ties

2026

3.19 (木) - 6.2 (火)

会場 国立民族学博物館 特別展示館

主催 国立民族学博物館

特別協力: ウズベキスタン芸術文化振興財団

協力: ウズベキスタン文化遺産庁サマルカンド考古学研究所、サマルカンド国立文化史博物館、駐日ウズベキスタン共和国大使館、名古屋ウズベキスタン共和国名誉領事館、浜名梱包輸送シルクロード・ミュージアム、大塚オーミ陶業株式会社、大阪市立東洋陶磁美術館、浜松市楽器博物館、国際協力機構 (JICA)、NPO法人日本ウズベキスタン協会、公益財団法人千里文化財団、天理大学附属天理参考館、平山郁夫シルクロード美術館、横浜ユーラシア文化館、龍谷大学大宮図書館、MIHO MUSEUM、株式会社雪割草、増井株式会社、岡本株式会社KUTSUSHITA研究所、株式会社クロシモ、株式会社ニッポンド

後援: 在ウズベキスタン日本国大使館、奈良県



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology



Uzbekistan
Art and Culture
Development
Foundation

特別展

シルクロードの商人語り

—サマルカンドの遺跡とユーラシア交流—

Echoes of Silk Road Traders: Samarkand's Relics and Eurasian Ties

シルクロードを通じた人やモノの移動、文化の交流において、「商人」の果たした役割は極めて大きく、古代から現代に至るまで、彼らの活動なしにはこの地域の歴史や文化を語ることはできません。



本特別展では、サマルカンド周辺の古代の遺跡から出土した考古遺物から、現代の刺繍・織物・楽器・民族衣装、さらには宗教や信仰に関する資料まで、中央アジアにおける文化の多様性と広範な交流・交易の実態を、シルクロードを行き交った「商人」の活動に焦点を当てながら紹介します。

特別展示館で
お待ちしております！
クラウドファンティングへのご支援、
ありがとうございました。

森薫先生描きおろし特別展オリジナルキャラクター



1. サマルカンドのバザール(ウズベキスタン、2025年、宗野ふもと撮影)
2. 復元されたプハラ・アルク城の城壁とラクダ(ウズベキスタン、2025年、末森薫撮影)
3. カフィル・カラ遺跡(ウズベキスタン、2022年、日本・ウズベキスタン共同調査隊提供)

関連イベント

みんなくゼミナール

場所：みんなくインテリジェントホール(講堂)

4月18日(土) 13:30-15:00

「シルクロード交易の過去と現在」

講師：寺村 裕史(本館 准教授)

5月16日(土) 13:30-15:00

「中央ユーラシアにおける遊牧社会の変貌」

講師：藤本 透子(本館 准教授)

みんなくウィークエンド・サロン——研究者と話そう

いずれも申込不要／要展示観覧券 場所：ナビひろば

3月22日(日) 14:30-15:00

「シルクロードの商人ソグド人の信仰と宗教」

話者：寺村 裕史(本館 准教授)

5月10日(日) 14:30-15:30

「カフィル・カラ遺跡発掘秘話」

話者：寺村 裕史(本館 准教授)、黒田 賢治(本館 准教授)

みんなく研究公演

事前申込制(先着順)／要展示観覧券

場所：みんなくインテリジェントホール(講堂) 定員：400名

3月28日(土) 14:30-16:00

「シルクロードの音色——中央アジアの楽器と伝統音楽」

出演：駒崎 万集(ドゥタール、ドイラ奏者)、

イナラ・セリクバエヴァ(ドンブラ奏者)、高橋 直己(カザフ民謡 歌手)

司会：寺村 裕史(本館 准教授)、末森 薫(本館 准教授)

5月3日(日・祝) 13:30-16:30

「越境」する古代仮面芸能・伎楽にせまる」

出演：森山 開次(舞踏家、演出家)、笠松 泰洋(作曲家、オーボエ奏者)、GIGAKU 団

司会：末森 薫(本館 准教授)

主催：国立民族学博物館、GIGAKUプロジェクト実行委員会

みんなく映画会

事前申込制(先着順)／要展示観覧券

場所：みんなくインテリジェントホール(講堂) 定員：350名

5月24日(日) 13:30-16:00

ウズベキスタン映画『ファリダの二千の歌』上映

監督：ヨルキン・トウイチエフ

司会：寺村 裕史(本館 准教授)

解説：宗野 ふもと(筑波大学 助教)

ほかにもワークショップ、友の会講演会など
関連イベントを開催します。

最新情報・詳細は、ホームページより
ご確認ください。



1



2

3



4

ご利用案内

- 観覧料……………一般1,200円(810円)
大学生600円(340円)
高校生以下無料
- 開館時間……………10:00~17:00(入館は16:30まで)
- 休館日……………水曜日
(水曜日が祝日の場合は直後の平日)

・()は、20名以上の団体料金、大学等*の授業でご利用の方、3ヶ月以内のリピーター、満65歳以上の方(一般料金)の割引料金(要証明書等)
*大学等は、短大、大学、大学院、専修学校の専門課程
・障がい者手帳をお持ちの方は、付添者1名とともに、無料で観覧できます。
・本館展示もご覧になれます。・入館当日はチケット半券で再入場できます。
・観覧料割引についてはホームページでご確認ください。

2026年2月1日(日)から3月18日(水)まで
お得な前売りチケットを全国の主要コンビニまたは電子チケットで発売!

交通のご案内

- 大阪モノレール……………「万博記念公園駅」、「公園東口駅」下車
徒歩約15分
- バス……………阪急茨木市駅・JR茨木駅から
「日本庭園前」下車徒歩約13分
- 乗用車……………万博記念公園の駐車場(有料)をご利用ください。最寄りの「日本庭園前駐車場」から
徒歩約5分

※大学生・一般の方は万博記念公園各ゲートで、当館の観覧券をお買い求めください。同園内を無料で通行できます。
※高校生以下の方、国立民族学博物館友の会会員の方は万博記念公園各ゲート有人窓口で、みんなくへ行くことをご申し出いただき、通行証をお受け取りください。
※万博記念公園をご利用になる場合は、同園入園料が必要です。



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号
Tel: 06-6876-2151(代) Fax: 06-6875-0401
https://www.minpaku.ac.jp/

科研費
KAKENHI
関西から
文化力
POWER OF
CULTURE

[表]カフィル・カラ遺跡出土 木彫板(女神ナナ) 日本・ウズベキスタン共同調査隊提供
[裏]1. 壁飾り H0328409 2. 口琴 個人蔵 3. 弦楽器(ドゥタール) 個人蔵 4. 人形 左からH0127718, H0127684, H0127716